

# 《 2022 (第44回) 全国選抜高校テニス大会 》

2022/3/21~27 福岡市：博多の森テニス競技場

## <男子団体戦>

- 1回戦 松商学園 (長野) 4-1 帯広北 (北海道)
- 2回戦 岩手 (岩手) 3-2 松商学園 (長野)

## <女子団体戦>

- 1回戦 東葉 (千葉) 5-0 松本県ヶ丘 (長野)
- 2回戦 松商学園 (長野) 5-0 東京学館浦安 (千葉)
- 3回戦 松商学園 (長野) 3-1 仁愛女子 (福井)
- 準々決勝 松商学園 (長野) 3-1 四日市商業 (三重)
- 準決勝 松商学園 (長野) 3-2 浦和麗明 (埼玉)
- 決勝 松商学園 (長野) 3-2 野田学園 (山口)



女子団体で初優勝を飾り、喜ぶ松商学園の選手たち (松商学園提供)



第2シングルスで2-0で勝った松商学園・瀬戸

今夏のインターハイも期待が懸かる。砂田は「新1年生を入れた新体制でもチャレンジとして、全国優勝をしたい」と目標を語った。

## 粘り 決勝も5時間半 試合重ねるたび 成長

テニス女子団体の松商学園は初の決勝の舞台で勝負強さを発揮した。前日の準決勝は4時間半の激闘をものにし、この日は5時間半に及んだ接戦を制した。念願の頂点に立った山田監督は「試合を重ねるたびにチームの成長を感じられた。生徒たちは本当に大きくなった」とたたえた。

エースの砂田が第1シングルスで敗れても、周りがカバーする団結力があつた。第2シングルスの1年生の瀬戸は「とにかく目の前のポイントに集中した。第1セットを7-1奪った。2勝2敗で迎えた第3シングルの吉田は試合中にガットが切れるアクシデントがあつたものの、仲間の応援を力に1-3の劣勢から逆転。優勝を決めた1年生は「粘り勝ちできた」と誇らしそうに話した。

昨年の選抜大会は1997年以来的の4強入りを果たし、全国高校総体(インターハイ)もベスト4に入つた。2年目の山田監督は就任時から、どんな状況でも明るさと元気を忘れないメンタル面を重視。接戦となつた決勝を勝ちきり、「とにかく楽しむことができた」と話した。

# 松商学園が初優勝

## テニス女子団体

### 高校選抜大会

全国選抜高校大会は25日、各地で行われ、テニスが決勝で野田学園(山口)に3-2で競り勝ち、初優勝を飾った。松商学園は第1シングルスで吉田が2-1で勝ち、優勝を決めた。

同時進行の第1ダブルスの金子・山崎組、第2シングルの瀬戸がともに2-0で勝利。第2ダブルスは敗れたが、第3シングルの吉田が2-1で勝ち、優勝を決めた。

## テニス

(25日・博多の森テニス競技場)  
▽男子団体決勝  
相学院3(兵庫) 複1000(大分) 2-0 大分舞鶴

▽女子団体決勝  
松商学園3(長野) 複211(山口) 2-1 野田学園  
山金 砂田 崎子 古宮 野内 長谷川

○吉田 飯小 瀬戸 沼坂 藤小池 形嶋 永 鈴 木